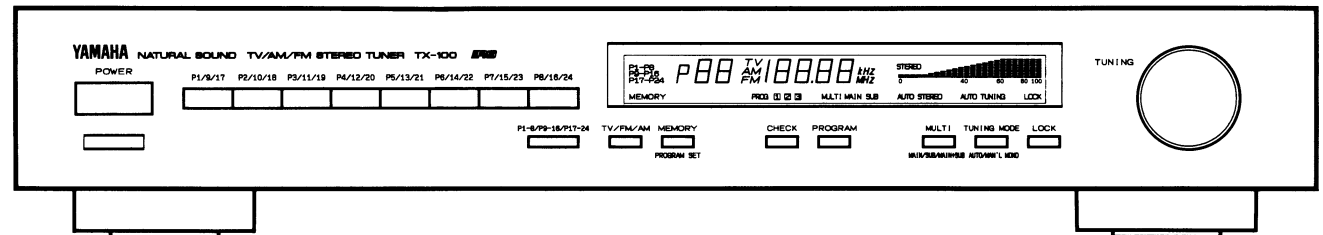


TX-100

NATURAL SOUND TV/AM/FM STEREO TUNER

取扱説明書



YAMAHA

ご使用前に必ずお読みください。

このたびはヤマハTV/AM/FMステレオチューナーTX-100をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

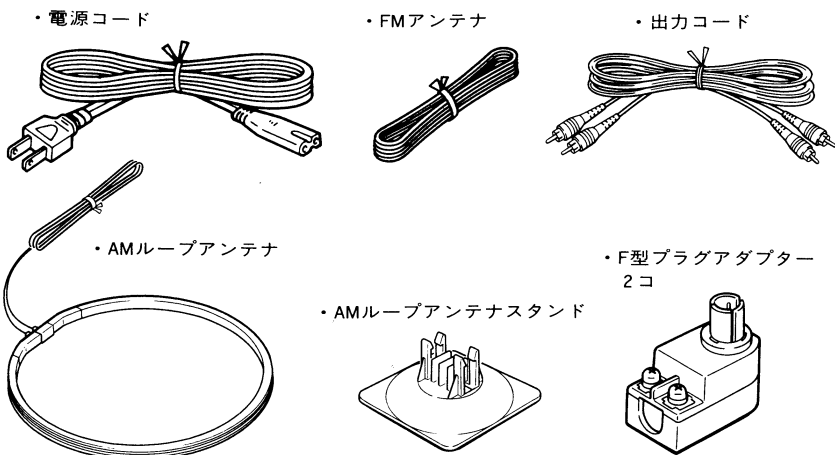
TX-100の優れた性能を十分に発揮させ、末永くお使いいただくために、この取扱説明書を、ぜひお読みくださいますようお願いいたします。

なお、お読みになったあとは、保証書とともに大切に保管してください。

目次

特長	2
豊かなオーディオライフのために	3
接続のしかた	4
各部の名称とはたらき	8
TV、AM、FM放送の受信のしかた	11
プリセットメモリーとプリセット選局	12
プログラムのしかた	13
故障かなと思ったら	14
参考仕様	15
ヤマハホットラインサービスネットワーク	16

■付属品 全部あることを確認してください。



特長

●オールレンジをカバーするTVチューナー部

VHF 1 chから12ch、UHF13chから62chのすべてのTV音声帯域をカバーするTVチューナー部は、S/N比68dB(VHF)、チャンネルセパレーション40dBというオーディオソースとして十分なスペックを達成。ステレオを始め、TV音声ならではの音声多重モードにも対応しています。

●高性能AMチューナー部

2連バラクタダイオード、低歪率検波器などに加えて、電界性雑音に強い、低インピーダンスループアンテナを装備した音質重視設計です。

●高性能FMチューナー部

3連バラクタダイオード、バイポーラFET RF増幅段による高感度フロントエンド、2共振セラミックフィルタ2素子、クオドラチャー検波器とPLL MPX回路など高性能で高品質なFMチューナー部です。

●マルチチューニングシステム

オート、マニュアルの2種類のチューニングシステムに加え、本機はTV/AM/FM放送局をランダムに24局までメモリーし、あとはプリセットキーを押すだけで選局できるプリセット選局機能を装備。正確でスピーディな選局ができます。

●プログラム選局

オーディオタイマーと組み合わせてご使用になるときに便利なプログラム選局機能があります。

●マルチステイタスメモリー

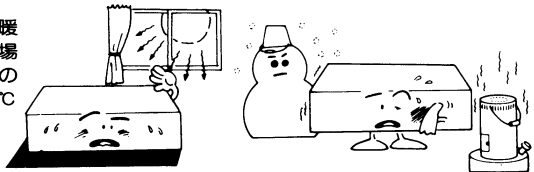
プリセットメモリーは周波数と同時に、プリセット時に設定していた受信状態をすべてメモリーします。

このセットのTV受信回路はFM受信回路と兼用しております。このため、地域によっては同調周波数以外の強い電波による妨害を受けることがあります。

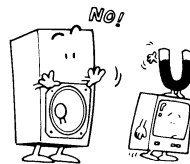
豊かなオーディオライフのために

高温・低温はさけて！

窓際や直射日光の当たる場所暖房器具のそばなど極端に暑い場所(周囲温度40℃以上)・温度の特に低い場所(周囲温度-5℃以下)は、さけてください。



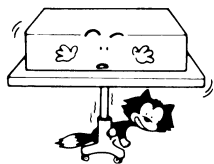
磁気・テレビはさけて！



ほこり・水気をさけて！

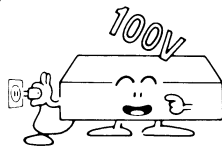


不安定な場所をさけて！



国内のみ使用可

家庭用電源コンセント
AC100V

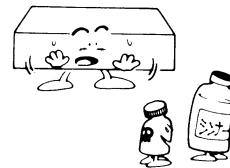


雷が近づいたら

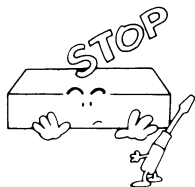


早めに電源プラグをコンセントから抜いてください。
このとき、アンテナ線には絶対に触れないでください。

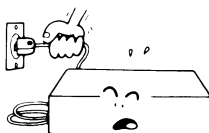
薬物厳禁



開けないで！



引っぱらないで！



保証書の手続きを！

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行なってください。保証書に販売店名、購入日などがありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがありますので、充分ご注意ください。



こわれた？



14ページの「故障かなと思ったら」をご覧ください。

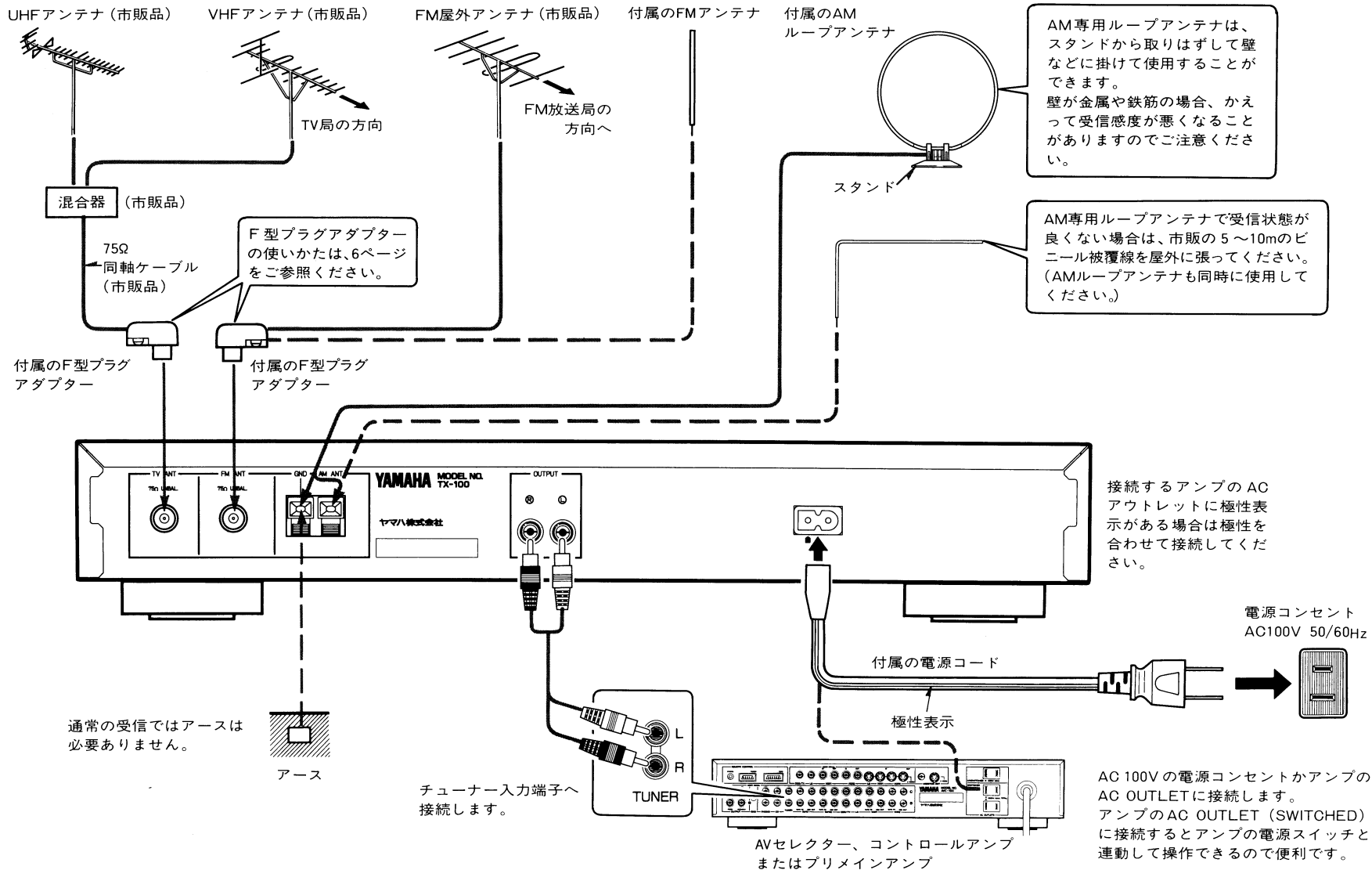


これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

接続のしかた



■接続時のご注意

- 1 テレビやCDプレーヤーなどの近くに本機を設置すると、悪影響を受け良い受信ができないことがあります。その場合にはできるだけ距離を離してください。
- 2 接続コードは①、②を確認し、確実に差し込んでください。接続が不完全ですと、音が出なくなったり雑音の発生する原因になります。
- 3 接続コードを電源コードやスピーカーコードと一緒に束ねたり、小さな直径で丸めたりしますと、不要なハムや雑音を拾ったりする原因になりますのでご注意ください。
- 4 オート選局の際に屋外アンテナやAMリードアンテナを設置しても、電波の弱い放送局や遠距離の放送局が受信できないことがあります。そのようなときは、もう一度アンテナの設置場所や高さなどを確認してください。それでも受信できないときはTUNING MODEキーを押しMAN' L MONOにして選局してください。

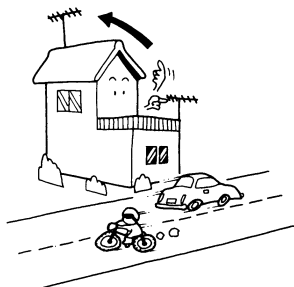
■TV/FMアンテナの接続

テレビの音声やFM放送を確実に受信するためには、受信する地域の電波の強さに応じたテレビおよびFM専用の屋外アンテナを設置することをお勧めします。

* 専用屋外アンテナに関しましては、ご購入店にご相談ください。

●屋外アンテナ設置場所について

屋外アンテナは自動車などのイグニッションノイズの影響を受けないように、なるべく道路から離れた、できるだけ高い位置に設置してください。



FM専用屋外アンテナは、雑音源から離してできるだけ高く設置してください。

●屋外アンテナの方向

屋外アンテナは受信する放送局の方向へ向け、FMマルチパス（次ページ参照）の妨害が少なく、シグナルインジケーターがもっとも多く点灯する方向を選んでください。本機は方向の異なる複数の放送局に対応するよう、TVとFMそれぞれ専用のアンテナ端子を装備しています。

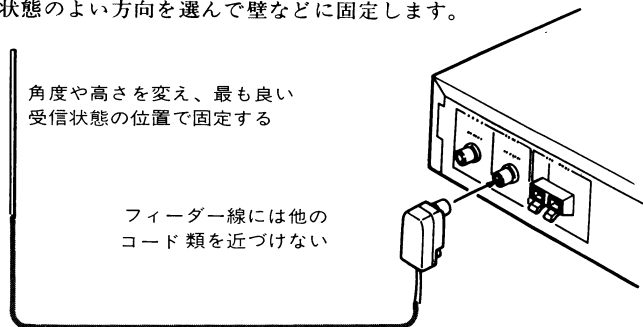
●TV/FMアンテナケーブルの接続

アンテナケーブルには75Ω同軸ケーブルと300Ω平衡フィーダーがあります。設置の際は、外部雑音の影響を受けにくい同軸ケーブルのご使用をお勧めいたします。また、同軸ケーブルには3C-2Vや5C-2Vなどがありますが、アンテナから本機までの距離が長い場合は、信号の減衰の少ない5C-2Vの使用が有利です。アンテナケーブルを本機のアンテナ端子に接続する場合は、付属のF型プラグアダプターを使用します。（次ページ参照）

●付属のFM用アンテナについて

付属のFM用アンテナは、電波が十分に強い地域で受信する場合に使用します。

- ① 付属のF型プラグアダプターをアンテナ線に取り付けます。（次ページ参照）
- ② F型プラグアダプターをFM ANT端子に差し込みます。
- ③ FM放送を受信します。（11ページ）
- ④ アンテナをたるみがないようにピンと張り、シグナルインジケーターがもっとも多く点灯するように、高さや角度を調整します。
- ⑤ もっとも受信状態のよい方向を選んで壁などに固定します。



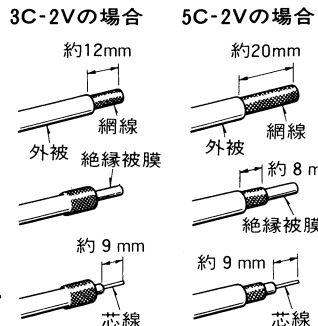
■F型プラグアダプターの使いかた

同軸ケーブルの接続方法

①同軸ケーブルの外被の先端をむきます。

・3C-2Vの場合は
約12mmむき、網線を後方にかえます。

・5C-2Vの場合は
約20mmむき、さらに網線を約8mm残して切り取ります。



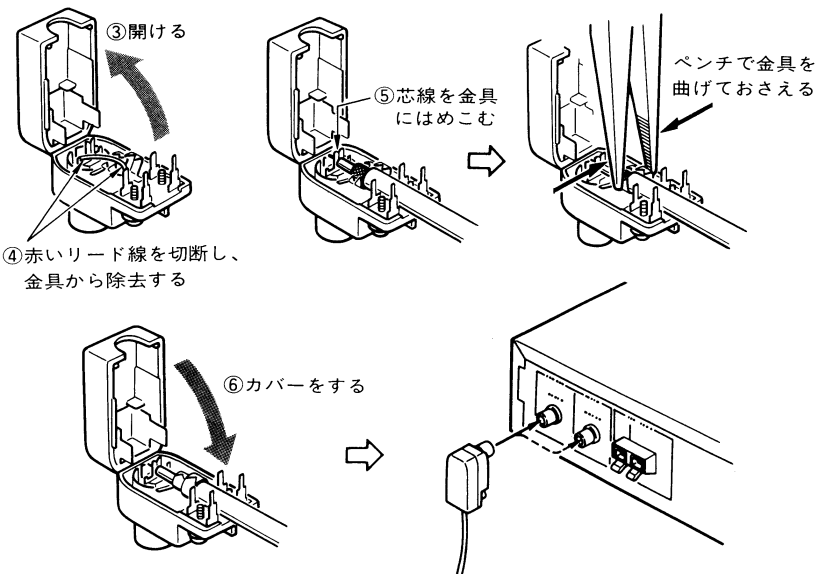
②絶縁被膜を約9mmむき芯線を出します。

③付属のF型プラグアダプターのカバーを開けます。

④赤いリード線を切断し、取り除きます。

⑤芯線を金具にはめこみ、網線部を金具でおさえます。

⑥F型プラグアダプターのカバーをはめ、本体のFMアンテナ端子AまたはBに差し込みます。

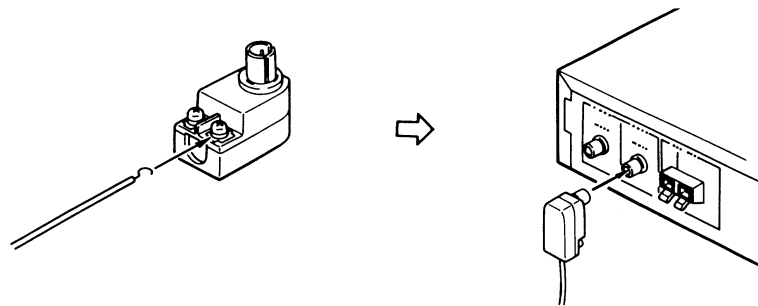


付属のFM用アンテナの接続方法

①付属のF型プラグアダプターのネジをゆるめ、アンテナの芯線をまるめてはさみ、再びネジをしめます。

②F型プラグアダプターをFMアンテナ端子に差し込みます。

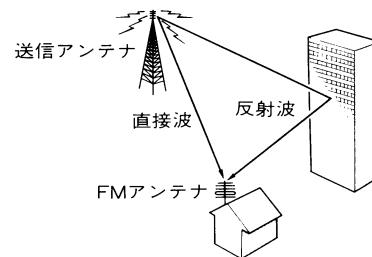
* 付属のアンテナを使用するときは、F型プラグアダプターの内部処理をする必要はありません。



●FMマルチパスとは……

テレビのゴーストと同様な現象で、図のようにFM電波がアンテナに直接入ってくる直接波と、山やビルなどの障害物に反射して入ってくる反射波とに分かれ、異なった方向からアンテナに入ってくることをいい、直接波と反射波のわずかな時間的なズレで受信音が歪んだり、セパレーションやSN比を悪くしたりします。

マルチパスを防ぐには、指向性の鋭いアンテナを使って、アンテナの高さや方向を検討し、マルチパス妨害を受けにくい場所に設置する必要があります。

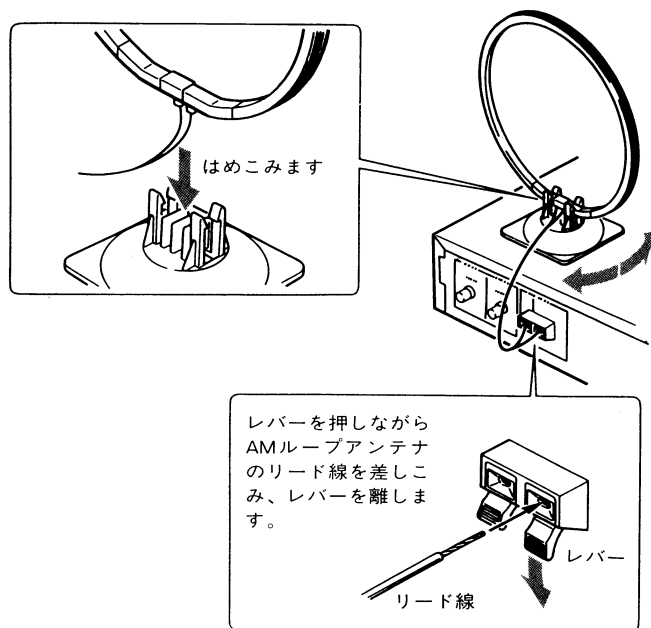


■AMアンテナの接続

●AMループアンテナの接続

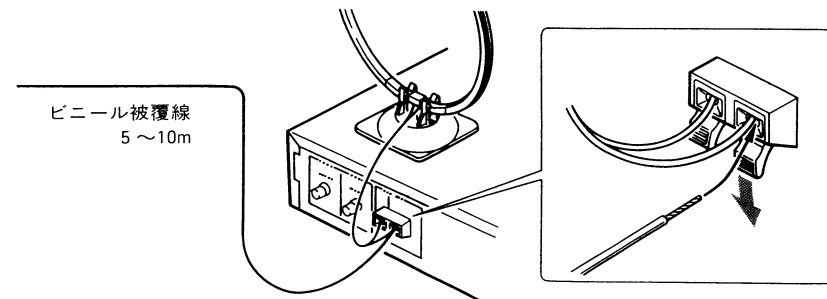
- 1 付属のAMループアンテナをアンテナスタンドにセットします。
- 2 AMループアンテナのコードをリアパネルのAM ANT端子に接続します。
- 3 AM放送を受信します。(11ページ)
- 4 シグナルインジケータがもっと多く点灯するように、アンテナの向きを調整します。

* AMループアンテナはスタンドから外し、壁などに掛けることができます。
ただし、壁が金属や鉄筋の場合には、かえって受信状態が悪くなる場合があります。ご注意ください。



●AMリードアンテナの接続

AMループアンテナを調整しても受信状態が良くならない場合は、ループアンテナを接続したままで、図のように市販の5～10mのビニール被覆線をAM ANT端子に接続し、屋外に張ってください。

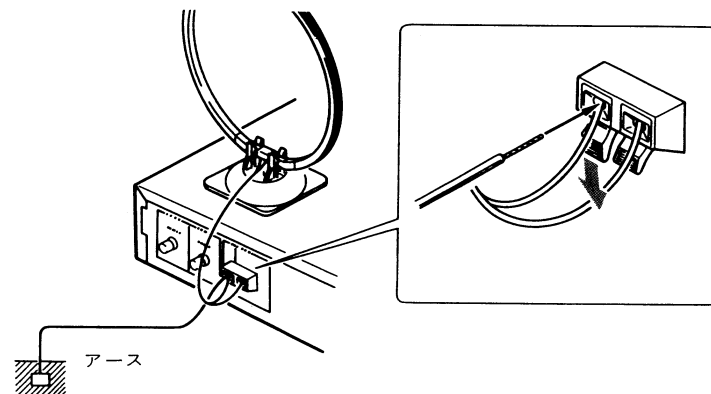


■アースについて

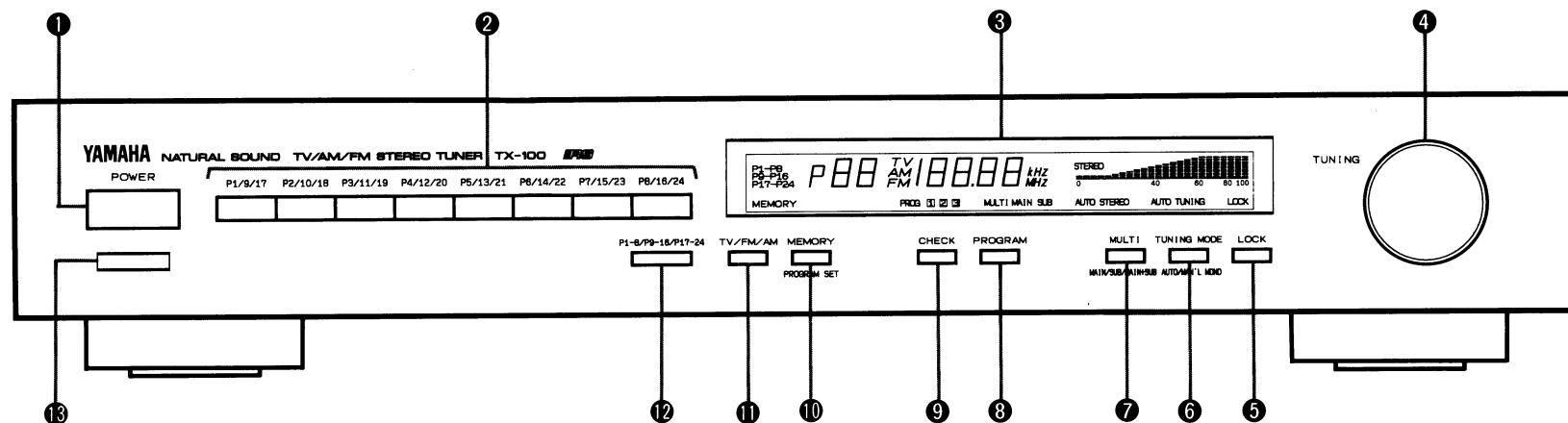
通常の受信では必要ありませんが、雑音防止と安全のために地中アースを設置されることをお勧めします。

アースは、AM ANT GND端子に接続した市販のビニール被覆線に、市販のアース棒あるいは銅板を付け、湿気の多い地中に深く埋めてください。

* 水道管やガス管にアース線を取り付けることは、感電や火災などの危険防止のため絶対におやめください。



各部の名称とはたらき



① ^{パワー}POWERスイッチ

押すと電源が入り、もう一度押すと電源が切れます。
*各インジケーターが点灯するまで若干の時間がかかります。

② プリセットキー

TV、AM、FM局を1キーに3局まで、ランダムに合計24局までプリセットメモリーすることができます。プリセットメモリー後はキーを押すだけで希望の放送局を選局することができます。(12ページ)

③ ディスプレイ

次ページをご参照ください。

④ ^{チューニング}TUNINGコントロールノブ

放送局を選局します。ノブを右に回しますと周波数またはチャンネル数が高くなり、左に回しますと低くなります。

⑤ ^{ロック}LOCKキー

キーを押しますと、TUNINGコントロールはロックされますので不用意な選局ズレやプログラムの解除を防ぐことができます。

ラストチャンネルメモリー

本機は電源を切っても、その直前に受信していた放送局および受信モードをメモリーしています。次に電源が入ったときは、電源を切る直前の放送局、受信モードになります。

メモリー内容の保存について

本機はプリセットメモリーを消さないために特殊なコンデンサーを内蔵しています。プリセットメモリーは、しばらく(約1時間)通電すれば、ご使用にならなくても7日間程度は保持できます。

ディスプレイ

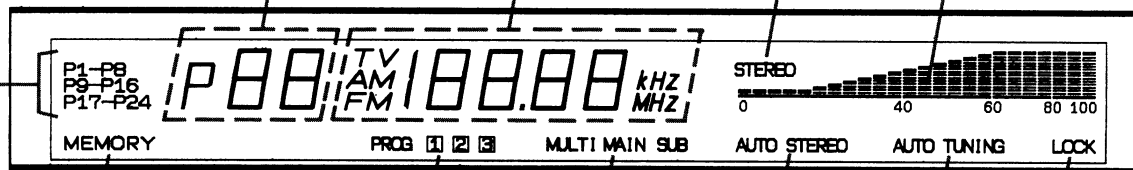
プリセットグループインジケータ
 プリセット番号の「P1-P8」「P9-P16」
 「P17-P24」を切り換えたときに、ど
 のグループかを表示します。

プリセットインジケータ
 プリセットキーを押すと、選んだプリセット
 局番が表示されます。

周波数・チャンネルインジケータ
 放送の種類、周波数またはチャンネル数
 を表示します。

ステレオ
STEREOインジケータ
 受信している放送がステレオの場合は
 自動的に点灯します。ただしTUNING
 MODEキーを押しMAN' L MONOモード
 のときは点灯しません。

シグナルインジケータ
 受信をしている放送の信号の強さを表示します。
 アンテナの設置時は、このインジケータが多く
 点灯するように高さや方向を調整してください。



メモリー
MEMORYインジケータ
 MEMORYキーを押すと点滅します。

プログラムインジケータ
 PROG：点滅中は放送局をメモリーすることができます。点灯している
 ときはプログラムがセットされていることを示します。
 ①②③：プログラムのセット中は点滅、セット後は点灯します。

音声多重インジケータ
 受信しているテレビ放送の音声の種類を表示します。
 MULTI：音声多重放送受信時に点灯します。
 MAIN、SUB：通常の音声受信時および
 音声多重放送受信時に点灯します。

ロック
LOCKインジケータ
 LOCKキーを押しTUNINGの状態が
 ロックされているときに点灯します。

オート チューニング
AUTO TUNINGインジケータ
 TUNING MODEキーでAUTOを選択している
 ときに点灯します。

オート ステレオ
AUTO STEREOインジケータ
 TVまたはFM受信時、TUNING MODEキー
 を押しAUTOモードのときに点灯します。

チューニング モード
⑥ TUNING MODEキー

チューニングモードを切り換えるキーです。

オート
AUTO：TUNINGノブを軽く回すだけで自動的に選局するオートチューニングモードになります。このモードでは選局中の耳ざわりな局間ノイズが出ないように、ミュートがかかります。

マニュアル モノ
MAN'L MONO：TUNINGノブを回して選局するマニュアルチューニングモードになります。このモードではミュートが解除され、電波の弱い放送局を受信することができます。また、TVやFM放送はステレオ放送でもモノラル受信となります。

マルチ
⑦ MULTIキー

テレビの音声多重放送を受信しているときに、聴く音声を選ぶキーです。

キーを押すごとに「MAIN (主音声) → SUB (副音声) → MAIN+SUB」の順に切り換わります。

プログラム
⑧ PROGRAMキー

プログラムをするときに押します。またプログラムを解除するときにも押します。(プログラムのしかた・13ページ参照)

チェック
⑨ CHECKキー

セットしたプログラムをチェックするキーです。

メモリー プログラム セット
⑩ MEMORY/PROGRAM SETキー

プリセットメモリーをするときに押します。キーを押しMEMORYインジケータが点滅している間に、プリセットキーを押しますと、そのキーに受信している放送局をメモリーすることができます。(プリセットメモリーとプリセット選局・12ページ)

またプログラムをするときは、放送局をメモリーするときに使います。(プログラムのしかた・13ページ)

⑪ TV/FM/AMキー

受信する放送局の種類を選ぶキーです。

キーを押すごとに「TV→FM→AM」の順に切り換わります。

⑫ 「P1-P8/P9-P16/P17-P24」切替キー

8コのプリセットキーを24に活用するキーです。キーを押すごとに「P1-8」「P7-16」「P17-24」に切り換わります。

⑬ リモコン受光窓

ヤマハのアンプなどに付属しているRS対応のリモコンからのコントロール信号(赤外線)を受光するところです。リモコンをご使用になりますと、リスニングポジションを離れることなく本機を操作することができます。

*リモコンについてはRS対応のリモコンの付属している機器の取扱説明書をご参照ください。

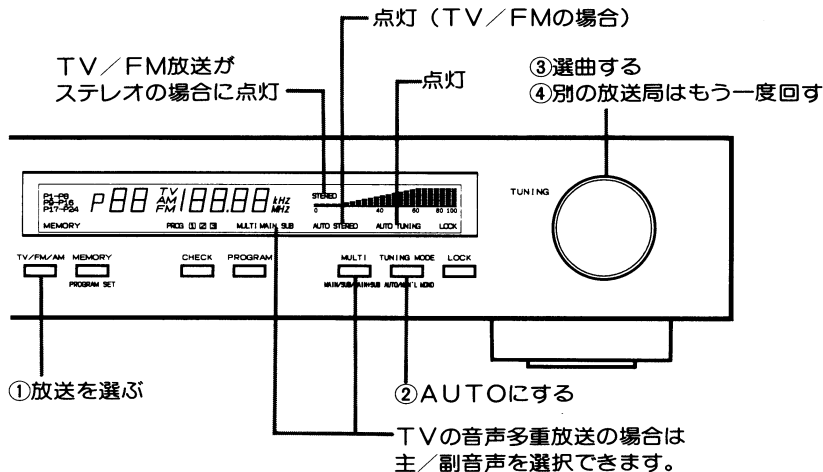
TV、AM、FM放送の受信のしかた

受信の前に、電源コードやプリメインアンプなどと正しく接続されているかどうかを確認してから、POWERスイッチを押してください。

オート選局(自動選局)のしかた

電波が強く妨害のない放送局を選局する場合に、スピーディな自動選局ができます。

- ①TV/AM/FMキーで受信する放送を選びます。
- ②TUNING MODEキーを押しAUTOにします。
- ③TUNINGノブを左または右に軽く回しますと、周波数表示が自動的に変化し放送局のあるところで止まり、放送を受信します。
*自動選局の場合、TUNINGノブを回し続ける必要はありません。
- ④止まったところが希望の放送局ではない場合は、TUNINGノブで選局を続けます。
*電波の弱い地域でオート選局をしている場合、局の受信ができず選局が終わらないことがあります。そのようなときはマニュアル選局してください。



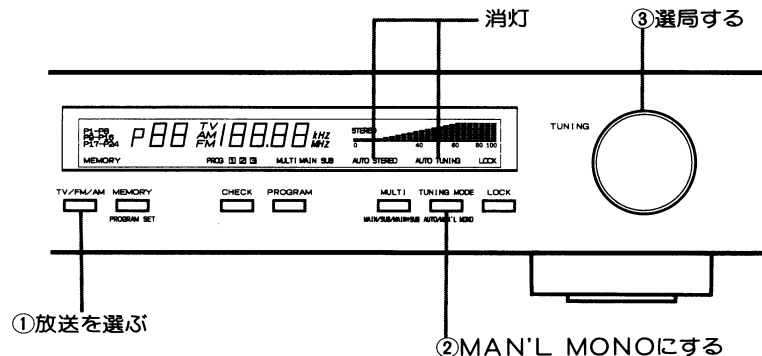
●テレビの音声多重放送について

テレビの音声多重放送を受信しているときはMULTIインジケータが点灯します。この場合はMULTIキーで受信する音声を選ぶことができます。主/副音声を聴くときは：MULTIキーを押してMAINインジケータを点灯させます。副音声を聴くときは：MULTIキーを押してSUBインジケータを点灯させます。主/副音声を聴くときは：MAIN、SUB両方のインジケータを点灯させます。
*通常の音声を受信しているときもMAIN、SUB双方のインジケータが点灯します。MULTIキーでMAIN、SUBを選んで再生される音声は同じです。

マニュアル選局(手動選局)のしかた

聞きたい放送局の電波が弱い場合、オート選局では受信できないことがあります。そのようなときは、マニュアルで選局します。

- ①TV/AM/FMキーで受信する放送を選びます。
- ②TUNING MODEキーを押しMAN'L MONOにします。
- ③TUNINGノブを左または右に回し、受信したい放送局を選局します。



プリセットメモリーとプリセット選局

プリセットキーにあらかじめ受信する放送局をメモリーしておきますと、あとはプリセットキーを押すだけでスピーディに選局することができます。

プリセットメモリーのしかた

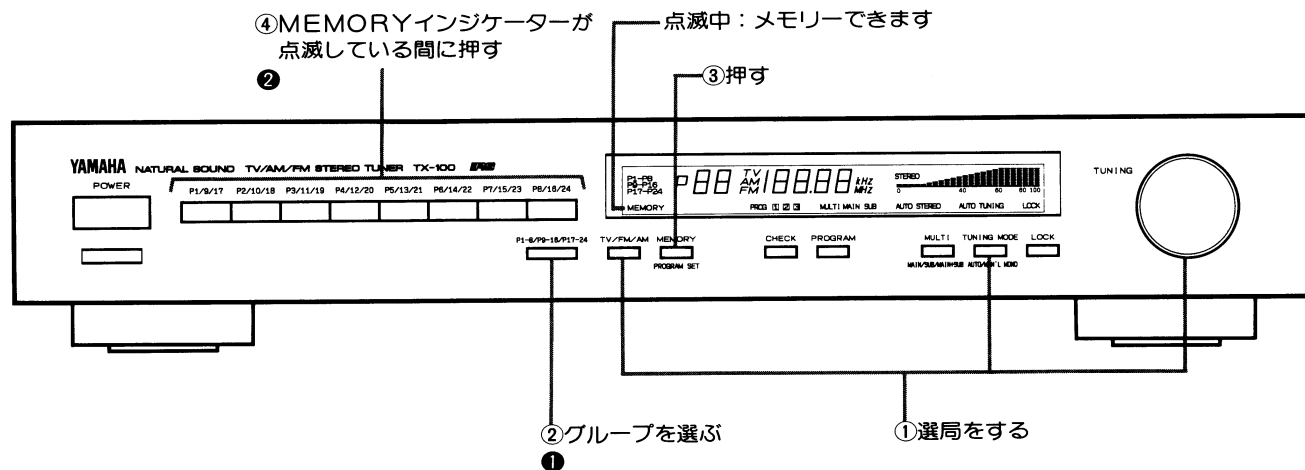
- ①オート選局またはマニュアル選局で希望の放送局を選びます。
- ②「P1-P8/P9-P16/P17-P24」切換キーを押してプリセットしたい番号のグループを選びます。
たとえば、P3にメモリーさせたい場合は「P1-P8」のインジケータが点滅（点灯）するように、P18に記憶させたい場合は「P17-P24」のインジケータが点滅（点灯）するようにキーを押します。
- ③MEMORYキーを押します。
- ④MEMORYインジケータが点滅している間（約5秒）に、希望するプリセットキーを押します。
- ⑤プリセットインジケータに、押したプリセットキーの番号が表示されます。

プリセット選局のしかた

- ①「P1-P8/P9-P16/P17-P24」切換キーで、受信するプリセット番号のグループを選びます。
- ②呼び出したい放送局の番号のプリセットキーを押します。

●プリセットを変更するときは

メモリーされているキーへ新しい放送局を上記の手順でメモリーし直しますと、前のメモリーが消え、新しい放送局がプリセットされます。



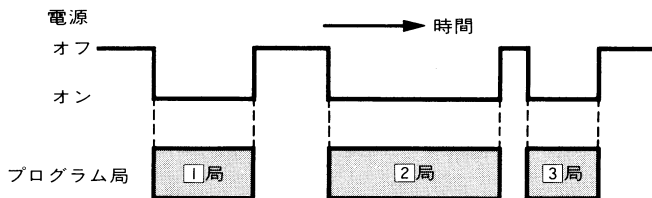
プログラムのしかた

聴きたい放送局をプログラムしておきますと、本機の電源がオンになるごとに、プログラムした放送局を順番に選局することができます。

毎日決まった複数の番組を聴いたり、オーディオタイマーと組み合わせてエアチェックをする場合などに便利な機能です。

● 3局までプログラムすることができます。

● 電源スイッチをオン・オフしても順番に選局することができます。



ご注意

プログラムはプリセットキーを使います。プログラムをするまえに、前ページを参照のうえプリセットをしてください。

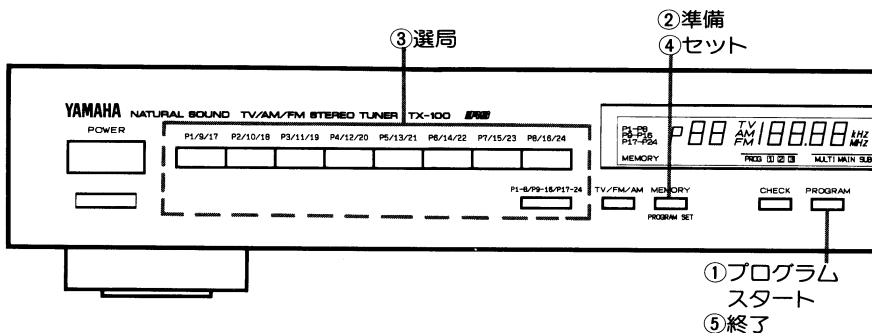
■プログラムのしかた

① PROGRAM キーを押します。



② PROGRAM SET キーを押します。

- * PROGRAM SET キーを押しますと、プリセットキー以外は受け付けません。
- * プログラムをやめるときは、もう一度 PROGRAM キーを押す、TUNING ノブを回す、あるいは電源を切ってください。



③ 「P1-P8/P9-P16/P17-P24」キーやプリセットキーを押して選局します。

* テレビ放送をプログラムするときは、受信する音声の種類 (MAIN または SUB あるいは MAIN+SUB) も MULTI キーで選択することができます。

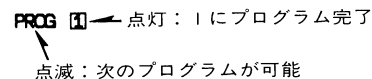
* 現在受信中の放送には影響はありません。

例：プリセット13を選局



④ PROGRAM SET キーを押します。

これで1局がプログラムできました。



続けてプログラムするときは、もう一度 PROGRAM SET キーを押します。

②、③、④の方法を繰り返しますと3局までプログラムをすることができます。

⑤ PROGRAM キーを押します。



⑥ オーディオタイマーを操作して本機の電源をオフにします。

これでセットした時間になるとセットされたプログラムの内容で、放送の受信、またはエアチェックが始まります。

* オーディオタイマーの操作はオーディオタイマーの取扱説明書をご参照ください。

●プログラムのチェック

CHECK キーを押しますと、セットされたプログラムの内容 (プリセット番号、周波数、チャンネル番号など) が順番に表示されます。

●プログラムの変更

PROG インジケータが点滅しているときは、プリセットキーを押し直しますとプログラム局を変更することができます。

●プログラムの解除

PROGRAM キーを押しますと、すべてのプログラムが解除されます。

また、TUNING ノブを動かしますと、すべてのプログラムは解除されます。

* LOCK キーを押しておきますと不意な解除を防ぐことができます。

故障かなと思ったら

本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。そのうえで正常に動作しない、あるいは下記以外で何か異常が認められました場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのYAMAHA電気音響製品サービス拠点宛、お問い合わせ、サービスをご依頼ください。

	どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
FM / TV 放送 受信 時の トラ ブル	“バリバリ、ガリガリ”という雑音が多々入る(電波の弱い地域ほど著しい)	モーターバイクや自動車などのイグニッションノイズ サーモスタットつき電気器具の雑音	FM/TV専用アンテナをできるだけ高く、道路から離れた位置に建て、同軸ケーブルを使用してください。 雑音を発生している電気器具に雑音防止器を取り付けてみてください
	ステレオ放送、多重放送になると雑音が多くなり聞きづらい	FMステレオ放送の特性により、放送局から離れた地域やアンテナ入力が弱い場合に起こす	アンテナの接続を確認してください FM/TV専用アンテナを建ててください FM/TV専用アンテナを多素子のものにしてみてください
	ステレオ放送、多重放送受信時、STEREOインジケーターがチカチカ点滅し雑音も多い	アンテナ入力の不足	受信地域の電界強度に合ったアンテナを建ててください
	プリセット選曲ができない	プリセット(メモリー)が消えている	再度プリセットしてください
	TV画面に縞模様や色ムラが出る	本機のTV音声とTV画面が別々のチャンネルを受信している	TV音声とTVのチャンネルの相互干渉によって起きています。本機のTV音声とTVを同じチャンネルにしてください。
	AM 放送 受信 時の トラ ブル	感度が充分にない	電波が弱い、あるいはアンテナの接続が確実でない
“ジー”、“ザー”、“ガリガリ”などの連続雑音が出る		空電や雷による雑音、または蛍光灯、モーター、サーモスタットつきの電気器具による雑音	AM屋外アンテナを張り、アースを完全にとると減少しますが、完全に除去するのは困難です
“ビー”、“チー”、“シーン”などの音が入る		テレビやパソコン、CDプレーヤーなどをそばで使用している	テレビやパソコン、CDプレーヤーなどから離して使用してみます
	プログラムできない	プリセットされていない	12ページを参照してプリセットしてください。

参考仕様

FMセクション

受信周波数	75~90.0MHz
50dB S/N感度	
MONO(75Ω)	1.55μV(15.1dBf)
STEREO(75Ω)	21μV(37.7dBf)
実用感度(MONO)	
75Ω	0.9μV(10.3dBf)
イメージ妨害比	80dB
IF妨害比	100dB
スプリアス妨害比	80dB
AM抑圧比	60dB
実効選択度	65dB
キャプチャレシオ	1.5dB
SN比(1HF)	
MONO	92dB
STEREO	85dB
歪率	
MONO(1kHz)	0.01%
STEREO(1kHz)	0.015%
ステレオセパレーション	
1kHz	60dB
周波数特性	20Hz~15kHz 0±0.2dB

TVセクション

受信チャンネル	1~62ch
実用感度	
VHF	3μV
UHF	20μV
SN比	
VHF	68dB
UHF	60dB
全高調波歪率(1kHz、ステレオ)	0.2%
チャンネルセパレーション	40dB
アンテナインピーダンス	75Ω

AMセクション

受信周波数	531~1,611kHz
実用感度	100μV/m
選択度	32dB
SN比	50dB
イメージ妨害比	40dB
スプリアス妨害比	50dB
全高調波歪率(400Hz)	0.3%

オーディオセクション

出力レベル/インピーダンス(固定端子)

FM(100%変調、1kHz)	0.7V/3.3kΩ
AM(30%変調、400Hz)	0.18V/3.3kΩ
TV(100%変調、1kHz)	0.6V/3.3kΩ

総合

定格電源電圧・周波数	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	10W
外型寸法(W×H×D)	435×76×320mm
重量	3.4kg
付属品	
FMアンテナ	1
AMループアンテナ	1
アンテナスタンド	1
F型プラグアダプター	2
出力コード	1

※仕様および外観は改良のため予告なく変更されることがあります。

ヤマハ ホットライン サービス ネットワーク

ヤマハ ホットライン サービス ネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用頂けるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

●保証期間

お買い上げ日より1年間です。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理によって製品の機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年（テープデッキは6年）です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買い上げ店、または最寄りの

YAMAHA電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

(右欄サービス拠点の所在地と電話番号をご参照ください。)

●製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また**製品の品名、製造番号**などもあわせてお知らせください。

※品名、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

■YAMAHA電気音響製品サービス拠点

(電気音響製品の修理受付および修理品お預かり窓口)

北海道 〒064 札幌市中央区南10条西1-1-50 ヤマハセンター内
TEL(011)513-5036

仙台 〒983 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F
TEL(022)236-0249

東京 〒211 川崎市中原区木月1184
TEL(044)434-3100

新潟 〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F
TEL(025)243-4321

松本 〒390 松本市大手2-5-2 中村屋ビル3F
TEL(0263)32-5930

浜松 〒435 浜松市上西町911番地 ヤマハ宮竹工場内
TEL(0534)65-6711

名古屋 〒454 名古屋市中区川玉町2-1-2
ヤマハ名古屋流通センター3F TEL(052)652-2230

京都 〒600 京都市下京区七条通間之町東入材木町483 第2マスイビル
TEL(075)361-6470

大阪 〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内
TEL(06)877-5262

神戸 〒650 神戸市中央区元町2-7-3 ヤマハ神戸店内
TEL(078)321-1195

四国 〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ高松店内
TEL(0878)22-3045

広島 〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39
TEL(082)874-3787

九州 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL(092)472-2134

■お客様ご相談窓口

北海道 〒064 札幌市中央区南10条西1-1-50 ヤマハセンター内
北海道営業所 TEL(011)512-6115

仙台 〒980 仙台市青葉区大町2-2-10 住友生命仙台青葉通ビル4F
東北営業所 TEL(022)223-3101

東京 〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F
首都圏第一営業所 TEL(03)255-5691

首都圏第二営業所 TEL(03)255-2201
神田営業所 TEL(03)255-6767

新潟 〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル
北関東営業所 TEL(025)241-2084

神奈川 〒211 川崎市中原区木月1184 ヤマハ日吉センター内
神奈川営業所 TEL(044)434-4871

浜松 〒433 浜松市幸3-5-8 ヤマハ四ッ池センター内
浜松営業所 TEL(0534)71-1207

名古屋 〒464 名古屋市千種区東山通5-65 ヤマハ東山センター内
中部営業所 TEL(052)782-7551

大阪 〒556 大阪市浪速区敷津東1-9-16 ヤマハなんばセンター内
関西営業所 TEL(06)647-6411

日本橋営業所 TEL(06)647-6411
中央営業所 TEL(06)647-6411

広島 〒730 広島市中区紙屋町1-1-20 いよぎん広島ビル内
中国営業所 TEL(082)244-3745

九州 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
九州営業所 TEL(092)472-2131

本社 〒430 浜松市中沢町10-1
AV機器事業部
お客様ご相談センター TEL(0534)60-3409

ヤマハ株式会社

〒430 浜松市中沢町10-1

AV機器事業部

国内営業部 TEL.(0534)60-3451
生産部品質保証課 TEL.(0534)60-3405

住所および電話番号は変更になる場合があります。

VI33590-0 BWgW, g 